

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
4月	見えないだけ 1時間 ◎語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1	1 詩を読み取る。 ・好きな言葉や表現をノートに書き写し、その理由をまとめる。 ◇言葉や表現が生み出している効果についても確認させる。 2 好きな言葉や表現を発表する。 ◇共感できた考えや自分にはなかった考えをノートにまとめさせる。 3 詩の特徴を生かして朗読する。 ・友達の発表を聞いて考えたことも踏まえて、詩の内容が効果的に伝わるように工夫して朗読する。	【知・技】語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
1 広がる学びへ				
4月	アイスプラネット 漢字に親しもう1 4時間 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読する。 2 登場人物の設定を確かめる。 3 ぐうちゃんに対する「僕」の思いを読み取る。 4 ぐうちゃんに対する自分の考えをまとめる。	【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)
		2	5 学習を振り返る。 6 P28「漢字に親しもう1」に取り組む。	【態】登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
		3		【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) →文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。
		4		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
4月	【聞く】 意見を聞き、整理して検討する 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や場面に応じて、社会生	1	本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 意見と根拠を表で整理し、根拠の適切さを評価する。 2 整理した表を基に、自分はどちらの意見に納得できるか、考える。 3 学習を振り返る。 ・聞き取った意見と根拠を整理し、根拠の適切さについて検討することができたか、確かめる。	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>			<p>ア)</p> <p>【態】進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。</p>
4月	<p>文法への扉1 単語をどう分ける？ 文法1 自立語 2時間</p> <p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	1-2	<p>1 単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。</p> <p>2 自立語の各品詞の性質などについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。</p>	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。</p>
5月	<p>魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 5時間</p> <p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p>	<p>1</p> <p>2-3</p> <p>4-5</p>	<p>教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 提案内容を決める。</p> <p>2 話の構成や表現を工夫する。</p> <p>3 プレゼンテーションをする。</p> <p>4 学習を振り返る。 ・いちばん心が動かされた提案をクラスで選び、理由を含めて話し合う。 ・録画したプレゼンテーションを視聴し、よかった点や改善点を話し合う。</p>	<p>【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ)</p> <p>【態】自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>
5月	<p>枕草子 【書く】自分流「枕草子」を書こう 3時間(読②書①)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1「枕草子」を音読し、古文を読み味わう。</p>	<p>【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>る。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p>	3-4	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を読み取るうえで、最も効果的だと感じた図表や写真はどれか、理由も含めて考えをまとめる。 ・図表を含む文章の読み方が、日常生活のどんな場面で活用できるか挙げる。 	<p>を解釈している。(C(1)ウ)</p> <p>【態】積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p>
6月	<p>情報整理のレッスン</p> <p>思考の視覚化</p> <p>1時間</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	1	<ol style="list-style-type: none"> 1 教材文を読み、情報の関係を整理して、視覚的に表す方法を理解する。 2 問題1～3に取り組む。 3 学習を振り返る。 	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【態】積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。</p>
6月	<p>情報を整理して伝えよう</p> <p>職業ガイドを作る</p> <p>5時間</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>	1-2	<p>教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 題材を決め、情報を集める。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる職業を決め、知りたい項目を挙げる。 2 集めた情報を整理する。 3 紙面構成を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや文章、図・表、グラフ、写真などの配置を考えて、紙面を構成する。 4 紙面を作成する。 5 感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報を図や記号で整理することには、どのような効果があるか、自分の言葉でまとめる。 ・読み手に何を伝えたいと考え、そのために、集めた情報をどのように整理したか、自分の言葉でまとめる。 ・集めた情報を整理するうえで、いちばん役に立った方法を理由も合わせて書く。 	<p>【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p> <p>【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)</p> <p>【態】多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	漢字 1 熟語の構成 漢字に親しもう 2 1時間 ◎常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいと伝える。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1	1 熟語の構成の種類について理解する。 2 練習問題に取り組む。 3 「漢字に親しもう 2」に取り組む。	【知・技】 既習の常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【態】 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3 言葉と向き合う				
6月	短歌に親しむ 【書く】短歌の創作教室 短歌を味わう 5時間(読②書③) ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいと伝える。(学びに向かう力、人間性等) ★短歌などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★短歌を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)	1 2 3 4-5	教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 「短歌に親しむ」を通読する。 2 短歌を音読し、解説の内容を捉える。 3 短歌に用いられた、表現の効果を考える。 4 好きな短歌を選び、感想を書く。(課題3) 5 学習を振り返る。 6 「短歌の創作教室」に取り組む。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】 表現の効果について進んで考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。
6月	言葉の力 2時間 ◎本や文章などには、さまざま	1	教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 2 文章の内容を捉える。	【知・技】 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりす

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★随筆を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	2	<p>3 筆者の考え方を読み取る。(課題2)</p> <p>4 筆者の考え方について話し合う。(課題3)</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>る読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>【態】文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>
7月	<p>言葉1 類義語・対義語・多義語語彙を豊かに</p> <p>抽象的な概念を表す言葉</p> <p>2時間</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい。思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	1	<p>1 P72導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について関心をもつ。</p> <p>2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。</p> <p>3 抽象的な概念を表す言葉を探す。</p> <p>4 3で集めた言葉の類義語や対義語を集める。</p> <p>5 言葉を比べ、用例を考える。</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>【態】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。</p>
		2		
情報×SDGs				
7月	<p>メディアの特徴を生かして情報を集めよう</p> <p>デジタル市民として生きる</p> <p>2時間</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p>	1	<p>1 メディアを比べて、それぞれの特徴を理解する。 ・さまざまなメディアを、「速報性」「詳細さ」「信頼性」の三つの観点で比較し、評価する。</p> <p>2 災害時の情報収集・情報の読み取りについて考える。</p> <p>3 情報を受け取るときの留意点を考える。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) <p>【思・判・表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)</p> <p>【態】複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集のしかたについて考えをまとめようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>	2		
いつも本はそばに				
7月	<p>読書を楽しむ 1時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	1	<p>1 教材文を読み、さまざまな読書活動を知る。</p> <p>2 「ブックトーク」、「読書ポスター」、「読みたい本のリスト」の中から、取り組む活動を選ぶ。</p> <p>3 選んだ活動に沿って、見通しを立てる。 ・ブックトークの場合は、グループごとにテーマを決め、そのテーマに関するさまざまな本を、魅力が伝わるように紹介する。</p> <p>4 グループごとに活動を行い、感想を発表し合う。</p>	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>【態】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。</p>
7月	<p>翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう 1時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	1	<p>本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。</p> <p>2 翻訳や外国文学について知る。</p> <p>3 今後読みたい本を考える。</p>	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) <p>【態】表現の効果について進んで考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)			
7月	季節のしおり 夏 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	-	・夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かに 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く 3時間 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)	1 2-3	本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 伝える相手や目的、内容を決める。 2 適切な通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【思・判・表】 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】 自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書こうとしている。
9月	【推敲】表現の効果を考える 1時間 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 遠山さんの手紙の下書きを読み、傍線部①～⑧を書き改める。 2 点線部㉔㉕について、より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。	【知・技】 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【思・判・表】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】 進んで文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
9月	言葉2 敬語 1時間 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1	1 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。	【知・技】 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【態】 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	我が国の言語文化を大切に して、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等) ★論説の文章を読み、理解し たことや考えたことを説明し たり文章にまとめたりする。 (思・判・表C(2)ア)	4-5		
10月	思考のレッスン1 根拠の吟味 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象な 情報と情報との関係について 理解することができる。(知・ 技(2)ア) ◎言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を生活に役立 て、我が国の言語文化を大切 にして、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等)	1	1 教材文を読み、根拠の適切 さの吟味のしかたと、意見の 説得力の高め方について理解 する。 2 問題1、2に取り組む。 3 学習を振り返る。	【知・技】 意見と根拠、具 体と抽象など情報と情報との 関係について理解している。 (2)ア) 【態】 今までの学習を生か して、積極的に意見と根拠の 関係について理解しようとし ている。
10月	適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く 5時間 ◎意見と根拠、具体と抽象な 情報と情報との関係について 理解することができる。(知・ 技(2)ア) ◎伝えたいことがわかりやす く伝わるように、段落相互の 関係などを明確にし、文章の 構成や展開を工夫することが できる。(思・判・表B(1)イ) ◎根拠の適切さを考えて説明 や具体例を加えたり、表現の 効果をj考えて描写したりする など、自分の考えが伝わる文 章になるように工夫することが できる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識する とともに、読書を生活に役立 て、我が国の言語文化を大切 にして、思いや考えを伝え合 おうとする。(学びに向かう力、 人間性等) ★多様な考えができる事柄に ついて意見を述べるなど、自 分の考えを書く。(思・判・ 表B(2)ア)	1 2 3-4 5	本教材のねらいを確認し、 学習の見通しをもつ。 1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える。 ・適切な根拠を選び、「理由 づけ」を考える。 3 意見文を書く。 ・600～800字程度でまと める。 ・根拠の適切さ、「理由づけ」 の説得力などの観点で推 敲する。 4 交流する。 ・意見文を友達と読み合 い、納得できた点や疑問 点、改善点などを伝え合 う。 5 学習を振り返る。 ・どのようなことに注意 して、自分の意見を支える 根拠を選んだか、確かめる。 ・自分の意見を明確に伝 えるために、どのような基 準で根拠を選び、どのよ うに構成を工夫したか、 自分の言葉でまとめる。 ・意見をわかりやすく伝 える工夫の中で、次に使 ってみたいものを一つ挙 げる。	【知・技】 意見と根拠、具 体と抽象など情報と情報との 関係について理解している。 (2)ア) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、 伝えたいことがわかりやす く伝わるように、段落相互 の関係などを明確にし、文 章の構成や展開を工夫し ている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、 根拠の適切さを考えて説 明や具体例を加えたり、 表現の効果を考えて描写 したりするなど、自分の考 えが伝わる文章になるよ うに工夫している。(B(1) ウ) 【態】 粘り強く根拠の 適切さを考え、学習の見 通しをもって意見文を書 こうとしている。
10月	聴きひたる 月夜の浜辺 1時間 ◎抽象的な概念を表す語句 の量を増すとともに、話や 文章の中で使うことを通 して、語感を磨き語彙を 豊かにすることができる。 (知・技(1)エ)	1	本教材のねらいを確認し、 学習の見通しをもつ。 1 朗読音声を聴き、言葉 の響きやリズムを味わ う。 2 表現に着目し、その効 果について考える。	【知・技】 抽象的な概念 を表す語句の量を増すと ともに、話や文章の中で 使うことを通して、語感 を磨き語彙を豊かにし ている。(1)エ) 【態】 進んで表現の効 果について考え、今ま での学習を生かして詩を 味わおうとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)			
10月	季節のおしり 秋 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	-	・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
6 いにしえの心を訪ねる				
10月	音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界 「平家物語」の主な登場人物たち 1時間 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1	1 「平家物語」の冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 2 『平家物語』の世界』『平家物語』の主な登場人物たち』を読み、「平家物語」の概要や文章の特徴、主要な登場人物やあらすじについて知る。 3 冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」を知る。 4 作品を貫く「無常観」と重ねて、再度冒頭部分を朗読する。 ・歴史的仮名遣いに注意して読む。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【態】進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
11月	扇的 —— 「平家物語」から 3時間 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1 2 3	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 2 朗読して古典のリズムを楽しむ。(課題1) 3 登場人物の言動から、心情を考える。 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 ・「平家物語」の登場人物たちの言動から読み取ったものの見方や考え方に対する、自分の考えを述べる。 5 学習を振り返る。 ・作品を読んで、現代に通じる(現代とは違う)と感じた部分などを挙げる。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) 【態】登場人物の言動の意味について進んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	間性等) ★古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)			
11月	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 3時間 (読②書①) ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたいとする。(学びに向かう力、人間性等) ★古典作品などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★多様な考えがでる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)	1 2 3	本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 2 現代語訳や注を手がかりにして読み、文章の内容を捉える。 3 本文を読み、内容をまとめる。 4 作者の考え方について話し合う。 5 学習を振り返る。 ・この作品には、どのような「ものの見方や考え方」が表れていたか、自分の言葉でまとめる。 ・どの記述を基に、作者のものの見方や考え方、人物像を想像したか、確かめる。 ・作者のものの見方や考え方は、現代でも通用するかどうか考える。 6 人物の特徴を捉えて、論じる。 ・P157「人物の特徴を捉えて論じよう」を読み、手順を確かめる。 ・「扇の的」や「仁和寺にある法師」の登場人物の中から、論じる人物を決める。 ・選んだ人物の特徴を捉えて、人物像を300字程度の文章にまとめる。 7 文章を友達と読み合い、感想や意見を述べ合う。 8 学習を振り返る。 ・原文の内容を踏まえて登場人物の特徴を捉え、わかりやすく伝えられるように文章の構成を工夫したか、確かめる。	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) 【態】 積極的に知識や経験と結び付けて考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
11月	漢詩の風景 3時間 ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ) ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、	1 2	「目標」や「学習の見通しをもつ」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 2 漢詩に描かれた情景や心情を読み取る。(課題1) ・漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を、解説の文章を手がかりにして読み取る。 3 構成や表現の効果を味わう。 ・それぞれの漢詩について、筆者が目にした構成や表現とその効果を、簡潔にまとめる。(課題2-①) 2 ・漢詩の中から気に入った表現を選び、引用して、表現の効果やよいと思った理由を伝え合う。(課題2-②) 4 漢詩の特徴を生かして朗読する。 ・グループで朗読の会を開き、漢詩に描かれた情景や心情、構成や表現の効果などが伝わるよう	【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3イ) 【思・判・表】 「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】 進んで漢詩の構成や表現の効果を考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	とする。(学びに向かう力、人間性等)			
12月	季節のしおり 冬 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	-	・冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【態】 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
12月	【話し合い(進行)】 話し合いの流れを整理しよう 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)	1	リード文や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 進行役になったつもりで話し合いの様子を視聴する。 2 進行役の最後の発言に続く形で、参加者から出た意見をまとめる。 3 まとめた意見を見直す。 4 見直して気づいたことを手がかりに、話し合いの流れを整理するときに必要なことをグループで話し合う。 5 学習を振り返る。 ・話し合いの流れを整理する際のポイントを確認する。	【知・技】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】 話し合いの流れを整理するときに必要なことを進んで考え、今までの学習を生かして話し合おうとしている。
12月	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 文法2 用言の活用 2時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1-2	1 P185の導入や解説を読み、動詞の語の形の変化のしかたに規則性がありそうなことを知る。 2 「活用」の意味や活用形などの用語、動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確認する。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ) 【態】 今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>り深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>			

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
8 表現を見つめる				
1月	<p>走れメロス</p> <p>〔書く〕作品の魅力をまとめ、語り合おう</p> <p>漢字に親しもう5</p> <p>8時間(読⑥書②)</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしようとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしようとする。</p>	<p>1-2</p> <p>「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 全文を通読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 <p>2 作品の設定と場面の展開を押さえる。(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の設定を確かめ、人物、時、場所、出来事などに着目して幾つかの場面に分ける。 <p>3 場面の展開に即して人物像を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭からメロスが王城を出発するまでの場面で、メロスと王はどんな人物として描かれているかを考える。(課題2-①) ・村から刑場に向かう途中、メロスの考え方や心情は、どんな出来事をきっかけに、どのように変化したかを考える。(課題2-②) ・王の考え方や心情は、何をきっかけにどう変化したかを考える。(課題2-③) <p>4 作品の魅力をまとめ、語り合う。(課題3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じた作品の魅力を文章にまとめる。 ・まとめた文章を基に、作品の魅力をグループで語り合う。 <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの語句に着目して、作品の魅力を語ったか、自分の言葉でまとめる。 ・友達との交流で新しく気づいた作品の魅力にはどんなものがあるか、自分の言葉でまとめる。 ・他の文学作品を読むときに生かせそうな、分析の観点を挙げる。 <p>6 「漢字に親しもう5」に取り組む。</p>	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) <p>【態】登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。</p> <p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。</p> <p>【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	て、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)			
1月	文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語 2時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1-2	1 P223の導入や解説を読み、付属語を使い分けることで内容を的確に伝えられることを知り、その働きや種類について学ぶことを理解する。 2 P251「文法3 付属語」を読み、助動詞や助詞の種類や働きについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。	【知・技】 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(1)オ) 【態】 今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
1月	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く 5時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ★物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 題材を決める。 ・日常生活を振り返り、「心が動いた瞬間」を書き出し、整理する。 2 設定や構成を考える。 ・設定(時、場所、登場人物)を考える。 ・自分の心情や考えが変化した場面を中心に、あらすじを考える。 ・状況設定・発端、展開、山場、結末の流れで構成を考える。 3 物語を書く。 ・描写を工夫して物語を書く。 ・書きあがったら、推敲する。	【知・技】 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【思・判・表】 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)
		2	4 作品を読み合う。 ・作品を読み合い、表現の工夫とその効果について、感想や助言を伝え合う。 ・友達の感想や助言などを踏まえ、自分の作品のよい点や改善点を見いだす。 5 学習を振り返る。 ・新たに使えるようになった言葉や表現には、どんなものがあるか、挙げる。 ・心が動いた瞬間を読み手に伝えるために、表現においてどのような工夫をしたか、自分の言葉でまとめる。 ・物語を書いたり作品を読み合ったりする中で気づいた、描写を工夫することのよさや効果について、話し合う。	【態】 粘り強く描写を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
		3-4		
		5		
2月	言葉3 話し言葉と書き言葉 2時間 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	1-2	1 導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 音声の性質から話し言葉の特徴を、文字の性質から書き言葉の特徴を捉え、それぞれの伝え方の注意点や工夫について理解する。 ・同音異義語の伝え方を理解する。(話し言葉) ・漢字、平仮名、片仮名、句読点、常体・敬体の使い方に注意する。(書き言葉)	【知・技】 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ) 【態】 今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★詩歌を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「鍵」によって「ひらかれる」「扉」の向こうには、どんなものがあるか考える。(課題2-②) 4 作者のものの見方について語り合う。(課題3) ・「私」は「この世」をどんな世界と捉えているのか、自分が考える「この世」との共通点や相違点を基に、作者のものの見方について考え、友達と語り合う。 ◇詩から読み取った作者のものの見方について、自分のこれまでの知識や経験と結び付けて考えさせるとよい。 5 学習を振り返る。 ・詩の中で使われているどのような語句に着目したか、挙げる。 ・作者のものの見方を考える手がかりとなった友達の発言にはどんなものがあつたか、振り返る。 ・「鍵」という作品との出会いで自分の考えがどう変化したか、ひと言で表す。 	<p>を進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。</p>
国語の力試し				
3月	<p>国語の力試し 3時間</p> <p>◎類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解することができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p> <p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> <p>★古典作品などを読み、引用し</p>	1 2 3	<p>1 問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40分を目安に問題を解く。 ・解き終わったら、解答と採点基準を確認し、自己採点をする。 <p>2 発展問題に取り組む。</p> <p>3 振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違ったところを改めて見直したり、それぞれの設問に関連する教材に立ち戻って、学習の要点を確認したりする。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。((1)エ) ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) <p>【態】 今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	<p>て解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>			